

PAM通信 コラム

2010年7月発行

<第52回> 彼女の魅力

最近、とても魅了された女性がいます。その人は小学校の臨時教師で、30代半ば、独身、彼氏はいません。彼女は何事にも一生懸命に自分の思ったとおりに突き進んでしまう単純さと、自分が間違っていると分かったら素直に謝れる潔さを持っています。生徒のためなら自分を犠牲にすることをいとわず、生徒の問題の原因が親であると思えば“モンスターペアレント”にも立ち向かってしまいます。ですから、世の中を器用に渡って行けるタイプではなく失敗も多い人です。でも、生徒を子ども扱いせず、対等な一人格の持ち主として接し、サポートに撤する姿勢は尊敬に値すると思えます。

しかし、彼女は完璧とは程遠く、教師としても女性としても、一般的に言われる「負け組み」です。そして、生徒のためなら強くなれるのに、自分のことでは優柔不断によくよ悩みます。でも、そんなダメダメなところが私には愛おしく感じられました。

実は…彼女は実在しません。テレビドラマ「ハガネの女」の主人公“芳賀稲子”だからです。ドラマでは吉瀬美智子さんが演じていました。吉瀬美智子さんは、きれいな女優さんだと思いますが私の好みのタイプではありませんでした。しかし、このドラマを見てから吉瀬美智子さんが“芳賀稲子”に見え、その笑顔がとても魅力的に感じるようになりました。魅力を感じるようになったといっても、やっぱりそれは吉瀬美智子さんがきれいだから…？それもあると思います、でも、きれいだということが魅力を感じるようになった一番の要因だとは思えません。異性へ魅力を感じ、好意を持つことは外見や中身だけではなく、不合理なことでもきっかけになると実感した出来事でした。

ところで、“芳賀稲子”の魅力の根源は何でしょう？自分の職業に情熱を持って取り組む姿勢でしょうか？それとも自然体であることでしょうか？ダメダメなキャラクターでしょうか？私はこれらの問題に“芳賀稲子”に負けず劣らずダメダメなので何かいえる自信がありません…。

魅力の根源が何かとの問いは、とりあえず保留するとして、実在するあなたは、自分の職業に情熱を持って取り組んでいますか？そのことを熱く語ることが出来ますか？

PAM 194-0013 町田市原町田 4-18-6-102 Mail : pam@pa-machida.co.jp 緊急時:090-1406-9367